

# 県道整備に伴う町道整備は

## 当面、復興事業による整備のみ

**問** 一般県道宮古山田線の(仮称)山田北インターへのアクセス道路として、羽々の下地区から石峠地区までの整備促進を図るとのことだが、県道に併せて桜野公営住宅までのアクセス道路の整備計画はないのか。

**佐藤町長** 町道は当面、復興事業による整備だけを計画している。

**阿部建設課長** 公営住宅へのアクセス道路については県道整備の中で施工することで合意をしている。



尾形英明議員  
( 新 生 会 )



災害公営住宅(写真奥)までのアクセス道路の早期整備が望まれます

# 山田型住宅の特徴は

## 建物の仕様を同一化し低廉に

**問** 山田型復興住宅協議会の仕事内容と山田型住宅の特徴は。

**町長** 住宅再建に係る相談窓口を設置し、施工主と受注業者の契約補助事務や、住宅プランの情報提供用リーフレットの配布などを行っていく。

本町の気候風土に合ったプランを作成し、建物の仕様を同一化するなどコストの削減を図り、低廉な価格で住宅の提供ができることが特徴である。

## シイタケ出荷制限解除の取り組みは

### ほだ場の落葉層除去やほだ木の焼却などを実施

**問** 露地栽培原木シイタケの出荷制限解除に向けた取り組みの内容は。

**町長** 現在、ほだ場の落葉層除去、ほだ木の焼却

処理等の環境整備や放射性物質の検査を行い、出荷制限解除に向けて取り組んでいる。

### その他の質問

◆27年度の各予算は効果的な配分か  
◆農地と用排水路の整備を進めている事業の補助金はいつまで活用できるか

◆堂ヶ鼻と島田地区の詳細設計に着手したが、工事着手の時期は  
◆国土調査事業の早期完了に対する取り組みは  
◆職員の資質向上のための研修とは